



憧れのチューニング メーカー&ショップの オリジナルグッズ 大感車祭土産は コレで決まった!

ブリッツ、マインズ、トライアル、マツダスピード、トラスト、RE南宮、ヴェイルサイド、ティーズ、HKSの各ブースでは、オリジナルグッズ満載でファンサービス。運が良ければチューナー自身が店番してたりして、記念写真と握手大会もバッチリ、オマケも付いて儲け物?



エエで、カメラどっちゃや?

向井さん、シルビアの前で一緒に写真撮って下さい!



GPエキスプレス号ではGPCグッズのてんこ盛り。ゲストの小林「イノ」目雄も大忙しでOPTステ交換のお手伝いだ。

大感車イベント・その3 AUTO SPORT誌

同じくオートスポーツ誌では、カートコースでヤマハのFK-9を使っているタイムアタックも行われた。体感スピードも速いし、気分はもうナイジェルだぜ! オートスポーツは100%モータースポーツ気分なのだ。



パイロンスラロームや車庫入れを組み合わせたタイムアタック競技はオートスポーツのイベントだ。当然パイロントッチは減点となる。慣熟で行ってしっかりコースを覚えて、コースを間違えないように走るべし。

大感車イベント・その2 MOTOR FAN誌



モーターファン誌では読者のみんなに、会場でのタイヤテスト、1カ月のタイヤモニターレポートをしてもらうという企画が行われた。国内外のタイヤメーカーから13メーカーのタイヤが選ばれ、それぞれ読者のあつた読者が自分のクルマに装着してテストしたのだ。テスト内容はパイロンスラロームとダブルレインチェンジのふたつ。普段、頭ではわかっていようなタイヤの動きを実感だ。素晴らしい走りレポートは、モーターファン誌をチェック!



大感車イベント・その5 GENROQ誌

ゲンロクでは同誌連載のレスポンスのGENの作者、池沢とし先生のサイン会が行われた。やっぱり、あの「サーキットの狼」の頃は、みんなスーパーカーに憧れたもんだね。その池沢さんがドライブする、GT選手権に参戦中のカウンタックの先導でレーシングパークの体験走行をするというメニューもあったのだ。憧れに浸る、ゲンロクのスーパーカー・ロマンチック!



グー……、疲れたウイ……、ホールド感もイイ(ブリッド)。



大感車イベント・その4 MOTO CHAMP誌



モトチャンプではミニバイクによる2時間耐久レースが白熱。バイクはチャンパー、ショップ、タイヤ、カウル等の交換が許され、ふたりひと組で2時間を走り抜くのだ。48台中半分の24台が決勝レースにコマを進め、熾烈なバトルが展開された。あつ、ライダーチェンジも勝負のカギになるのだ。2連続はチャンプでGOGO!



OPTパーキング7号の前ではベネトンGALの撮影会。「カワイ〜、このクルマ!」と喜んでくれたかどーかは不明……。

オメーらは何者だつてーの! 後らがあの有名なバウ貴族。ナマで見ちゃって気色ワリ〜!!



FTO by 島田親香

ミツビシより発売直後のFTOは、ラリースト島田選手がドライブ。フルマはノーマルだけど、注目のスポーツモードAT、INVECS-IIを目一杯使った走りは注目だ。

